

科(科目)名 合計時間	内容	実施計画
(1)職務の理解 6時間	① 多様なサービスの理解	これからの介護が目指すべき「その人の生活を支えるケア」の実践について具体的なイメージが持てるようになる。
	② 介護職の仕事内容や働く現場の理解	介護職がどのような環境で、どのような形で、どのように仕事を行うのか、イメージでき、以降の研修に実践的に取り組めるようになる。
(2)介護における尊厳の保持・自立支援 9時間	① 人間と尊厳を支える介護	介護職は、利用者の尊厳のある暮らしを支える専門職であることを理解する。
	② 自立に向けた介護	自立支援、介護予防といった基本的視点で介護サービスを提供していく必要があることを理解する。
(3)介護の基本 6時間	① 介護職の役割、専門性と他職種との連携	利用者本位のサービスを提供するため、チームアプローチの重要性とその一員として業務に従事する際の役割、責務を理解する。
	② 介護職の職業倫理	職業倫理の基本を理解する
	③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント	職務におけるリスクとその対応策のうち重要なものを理解する。
	④ 介護職の安全	介護職に起こりやすい健康障害や受けやすいストレス、またそれらに対する健康管理、ストレスマネジメントのあり方、留意点を理解する。

(4)介護・福祉サービスの理解と医療との連携 9時間	① 介護保険制度	生活全体の支援の中で介護保険制度の位置づけを理解し、各サービスや地域支援の役割について理解する。
	② 医療との連携とリハビリテーション	利用者の生活を中心に考えるという視点を共有し、多職種との連携や、そのサービスを理解する。
	③ 障害者自立支援制度及びその他制度	障害者総合支援制度を担う一員として最低限知っておくべき制度の目的、サービス利用の流れ、各専門職の役割・責務について、その概要を理解する。
(5)介護におけるコミュニケーション技術 6時間	① 介護におけるコミュニケーション	一人一人異なるコミュニケーション能力の違いを認識し支援することが専門職に求められていることを理解し取るべき行動例を知る。
	② 介護におけるチームのコミュニケーション	利用者、家族、多職種との円滑なコミュニケーションの取り方を学ぶ。
(6)老化の理解 6時間	① 老化に伴うこころとからだの変化と日常	加齢・老化に伴う心身の変化や疾病について、生理的な側面から理解することの重要性に気づき、自ら継続的に学習すべき事項を理解する。
	② 高齢者と健康	高齢者に多い疾病の種類とその症状、特徴、治療、生活上の留意点について知る。
(7)認知症の理解 6時間	① 認知症を取り巻く状況	認知症ケアの理念や利用者中心というケアの考え方について理解する。
	② 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	認知症の中核症状と行動・心理症状(BPSD)等の基本的特性及びそれに影響する要因を知る。
	③ 認知症に伴う心と体の変化と日常生活	認知症の心理・行動のポイント、認知症の利用者への対応、コミュニケーションの取り方及び介護の原則について知る。

(7)認知症の理解	④ 家族への支援	家族の気持ちや家族が受けやすいストレスについて知る。
(8)障害の理解 3時間	① 障害の基礎的理解	障害の概念とICF、所外者福祉の基本的な考え方について理解する。
	② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	介護における基本的な考え方について理解する
	③ 家族の心理、かかわり支援の理解	障害の受容のプロセスと基本的な介護の考え方について知る。
(9)こころとからだのしくみと生活援助技術 75時間	① 介護の基本的な考え方	基本定な介護を実践するために知識・技術が必要であることを理解する。
	② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解	老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因、こころの持ち方が行動に与える影響を知る。
	③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	介護技術の根拠となる人体の構造を知る。
	④ 生活と家事	家事援助の機能と基本原則について知る。
	⑤ 快適な居住環境整備と介護	利用者の身体の状態に合わせた環境整備についてポイントを知る。
	⑥ 整容に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護	装うことや整容の意義について知り、正しい知識とアセスメント結果に基づく適切な介護技術の適用が必要であることを理解する。

(9) ころとから だのしくみと生 活援助技術	⑦ 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	移動・移乗の意味と関連する用具・機能や様々な種類の車椅子、杖などの基本的使用方法を知り実践については正しい知識とアセスメント結果に基づく適切な介護技術の適用が必要であることを、理解する。
	⑧ 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	食事の意味と食事を取り巻く環境整備の方法を知る。食事に関するころとからだのしくみを理解し、指示に基づいて介助を行える。
	⑨ 入浴、清潔保持に関連した心と体のしくみと自立に向けた介護	入浴や清潔の意味と環境整備や入浴に関連した用具を知り、介護の実践については、正しい知識とアセスメント結果に基づく適切な介護技術の適用が必要であることを理解する。
	⑩ 排せつに関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	排泄介護の実践については、正しい知識とアセスメント結果に基づく適切な介護技術の適用が必要であることを理解する。
	⑪ 睡眠に関するころとからだのしくみと自立に向けた介護	睡眠の意味と睡眠を取り巻く環境整備や関連した用具を知り、睡眠に関する体のしくみを理解する。
	⑫ 死にゆく人に関するころとからだのしくみと終末期介護	ターミナルケアの考え方、対応のしかた・留意点・本人・家族への説明と了解、介護職の役割や他の職種との連携について知る。
	⑬ 介護課程の基礎的理解	利用者ができるだけ馴染みの環境で日常的な生活を送れるようにするために、利用者一人ひとりに対する生活状況の的確な把握が必要であることを理解する。
	⑭ 総合生活支援技術演習	自立の助長と重度化防止・遅延化のために、介護を必要とする人の潜在能力を引き出し、活用・発揮させるという視点が大切であることを理解し、指示に基づいて介助を行える。
(10) 振り返り	① 振り返り	研修全体を振り返り、本研修を通じて学んだことについて再確認を行う。
	② 就業への備えと研修終了後における継続的な研修	自立支援に資するサービスを他職種と協働して総合的・計画的に提供できる能力を身につけることが自らの将来の目標であることを理解する。